

第88期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



SHINKO

新光電気工業株式会社

証券コード6967



株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第88期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2022年度中間期の業績について

当中間期における半導体業界は、自動車、産業機器向けなどの需要が堅調に推移した一方で、中国におけるロックダウンやロシア・ウクライナ紛争、世界的なインフレ進行による影響や、パソコン、スマートフォン向け需要の減少などにより、半導体市況の減速感が強まる状況となりました。

このような環境下において、当社グループにおきましては、フリップチップタイプパッケージは、パソコン向けの需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が円安基調で推移したことなどにより増収となりました。また、半導体製造装置向けセラミック静電チャックは受注が好調に推移し、IC組立はハイエンドスマー

トフォン向けに需要が大きく増加したことに加え、大幅な円安の進行も寄与し、売上が増加しました。これらの結果、当中間期の連結売上高は1,570億5百万円（対前年同期比24.7%増）、経常利益は546億49百万円（同73.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378億73百万円（同74.4%増）と、いずれも過去最高となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株当たり25円とさせていただきます。

今後の見通しと取り組みについて

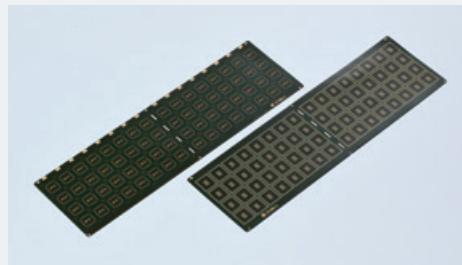
今後の半導体業界は、社会・経済のデジタル化の進展を背景に、半導体は幅広い分野において用途を広げ、市場は中長期的に拡大することが想定されます。

当社グループは、このような状況に対応するため、現在進めている高性能半導体向けフリップチップタイプパッケージの新工場開設、半導体製造装置向けセラ

トピックス1 ▶ 半導体メモリー向けプラスチックBGA基板の生産能力増強

当社のプラスチックBGA基板は、スマートフォン・自動車に搭載される半導体メモリーや、自動車向けのECU（Electronic Control Unit）に主に使用されています。今後、半導体メモリーの高速・大容量化が進み、一層の微細・薄型・低電力のニーズが高まるとともに、需要の拡大が見込まれるため、新井工場内に新棟を建設し、生産能力増強をはかることといたしました。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1)投資額:280億円 | (3)スケジュール:2024年度 着工 |
| (2)所在地:新井工場(新潟県妙高市) | 2025年度 竣工 |
| | 2026年度 稼働開始 |



プラスチックBGA基板

ミック静電チャックの新棟整備等による増産投資に加え、半導体メモリー向けのプラスチックBGA基板についても、今後の需要増加に対応すべく、新井工場（新潟県妙高市）に新棟を建設し生産能力増強をはかることといたしました。（トピックス1▶参照）

また、当社グループは、気候変動などの環境課題への対応にあたり、目指す姿を明確化し、活動の一層の強化をはかることを目的として、このたび「環境ビジョン2050」を新たに策定いたしました。本ビジョンに沿い、環境課題への取り組みを加速させることを通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを目指してまいります。（トピックス2▶参照）

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月



代表取締役社長

倉嶋進

トピックス2▶ 持続可能な社会の実現に向け、「環境ビジョン2050」を策定

環境ビジョン2050

新光電気グループは、ものづくりを行う企業の責務として、環境負荷低減に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します

【新光電気グループが目指す姿】

気候変動	温室効果ガス排出量を削減し、脱炭素社会の実現を目指します
資源環境	資源の有効活用・リサイクルの最大化をはかり、循環型社会の実現を目指します
自然共生	事業活動による生物多様性への影響を低減し、自然共生社会の実現を目指します

(連結)

■ 売上高

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



■ 経常利益

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



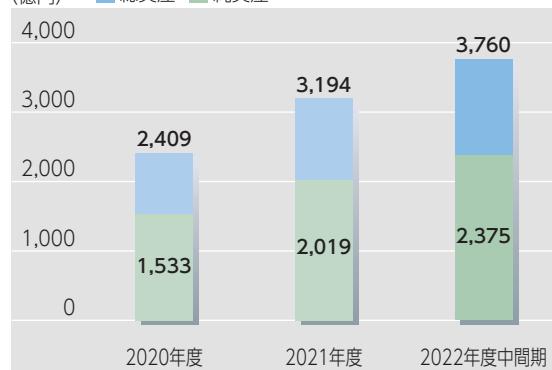
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(億円) ■ 中間期 ■ 通期



■ 総資産／純資産

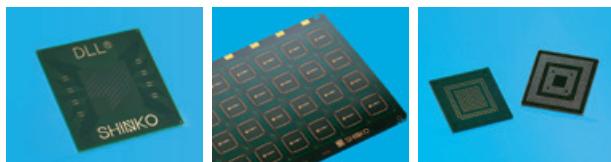
(億円) ■ 総資産 ■ 純資産



セグメント別の状況

Summary of Operations by Segment

プラスチックパッケージ

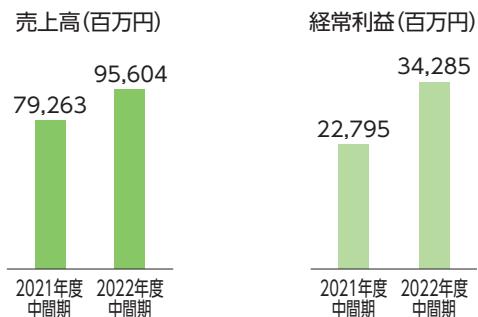


フリップチップタイプ
パッケージ

プラスチック
BGA基板

IC組立

フリップチップタイプパッケージは、第2四半期においてパソコン需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が円安基調で推移したことなどにより増収となりました。IC組立はハイエンドスマートフォン向けに需要が大きく増加し、プラスチックBGA基板は先端メモリ向けや自動車向けが好調に推移したことに加え、大幅な円安の進行などにより、売上が大きく増加しました。これらの結果、当セグメントの売上高は956億4百万円(対前年同期比20.6%増)、経常利益は342億85百万円(同50.4%増)となりました。



メタルパッケージ

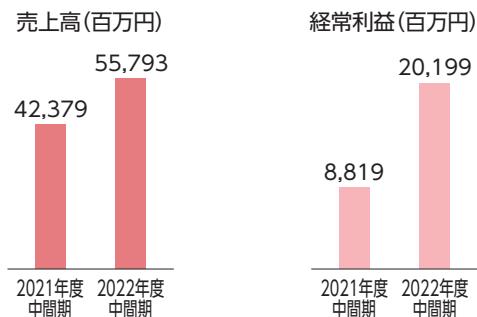


プレスリードフレーム

セラミック
静電チャック

ヒートスプレッダー

リードフレームは、第2四半期以降、半導体市況減速の影響を受け需要が減少傾向となったものの、自動車向けは堅調に推移しました。セラミック静電チャックは半導体製造装置向けに受注が好調に推移し、CPU向けヒートスプレッダーはサーバー向け需要が増加するとともに、大幅な円安の進行も寄与し、増収となりました。一方、ガラス端子は光学機器向けが低調に推移し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は557億93百万円(対前年同期比31.7%増)、経常利益は201億99百万円(同129.0%増)となりました。



決算概要 (連結)

Financial Statements(Consolidated)

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年9月30日現在)	前期 (2022年3月31日現在)
資産の部	376,092	319,461
流動資産	235,175	192,828
固定資産	140,917	126,632
有形固定資産	134,263	119,999
無形固定資産	876	861
投資その他の資産	5,777	5,771
資産合計	376,092	319,461

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年9月30日現在)	前期 (2022年3月31日現在)
負債の部	138,547	117,463
流動負債	135,942	114,826
固定負債	2,605	2,636
純資産の部	237,545	201,997
株主資本	238,967	204,746
資本金	24,223	24,223
資本剰余金	24,173	24,129
利益剰余金	190,644	156,486
自己株式	△ 74	△ 92
その他の包括利益累計額	△ 1,421	△ 2,749
負債純資産合計	376,092	319,461

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	157,005	125,922
売上原価	98,349	88,850
売上総利益	58,656	37,071
販売費及び一般管理費	7,703	7,004
営業利益	50,952	30,067
営業外収益	3,733	1,536
営業外費用	36	44
経常利益	54,649	31,559
特別損失	627	583
税金等調整前四半期純利益	54,022	30,976
法人税、住民税及び事業税	16,054	9,280
法人税等調整額	94	△ 14
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,873	21,710

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,862	26,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 31,296	△ 19,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,763	2,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,839	111
現金及び現金同等物の増減額	24,641	9,311
現金及び現金同等物の期首残高	68,758	42,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,399	51,819

会社の概要

Corporate Data

(2022年9月30日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 プラスチック・ラミネート・パッケージ、
リードフレーム、ガラス端子、ヒートスプレッダー、
セラミック静電チャックなどの製造・販売、
ICアセンブリ
- 従業員数 4,850名 (連結5,594名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、名古屋、福岡、マニラ

取締役

(2022年9月30日現在)

代表取締役会長	藤田正美
代表取締役社長	倉嶋進
代表取締役専務執行役員	牧野恭久
取締役常務執行役員	小澤隆史
社外取締役	新美潤
取締役常勤監査等委員	伊藤明彦
社外取締役監査等委員	荒木泉子
社外取締役監査等委員	小林邦一

株式の状況

Shareholders' Data

(2022年9月30日現在)

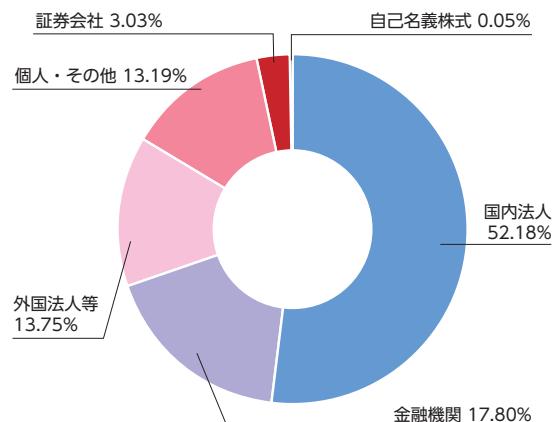
- 発行可能株式総数 540,000,000株
- 発行済株式の総数 135,171,942株
- 大株主
- 資本金 24,223,020,480円
- 株主数 38,448名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	11,645	8.62
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	6,392	4.73
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
JPLLC-CL JPY	1,254	0.93
上田八木短資株式会社	1,253	0.93
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,147	0.85
新光電気工業株式会社従業員持株会	994	0.74
朝日生命保険相互会社	991	0.73
野村信託銀行株式会社 (投信口)	941	0.70

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2022年9月30日現在)



株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係 3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載しております。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金（除斥期間が経過したものを除く。）につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

当社の株主優待制度におきましては、オリジナルカタログギフトを対象となる株主様へお贈りしております。カタログでは、当社工場が所在する長野県・新潟県の特産品等をお選びいただけます。



(写真は全てイメージです。)

※300株以上、継続して1年以上保有されている株主様が対象となります。
2022年3月期の株主優待につきましては2022年6月上旬にご案内書類をお送りしております。

CLICK!

新光電気工業 株主優待

検索



「JPX日経インデックス400」に選定されました。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000 (代表) FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



JPX-NIKKEI 400



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。